

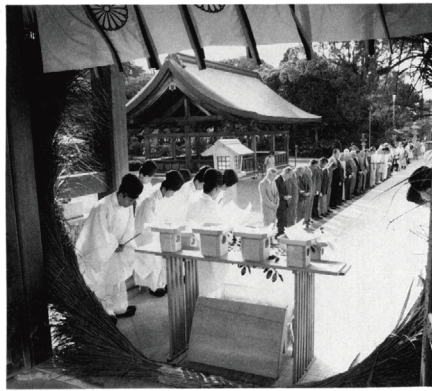


毎月十五日発行
宗像大社
定価 一年送料共 1000円

神具・装束
結飾式場用品
福岡店
本店
電話

大祓式・夏越祭齋行

今年後半の平穏を祈念し



強い夕日が照りつける七月三十一日午後五時、盛夏恒例の「夏越の大祓神事」が古儀に則り厳かに齋行された。

この「大祓」の儀式は、中世の禰神祇官の命により、全国の神社の宮司が朝廷の名代となり、日本中隈なく災難がないように行ったことと由来するもので、千年を越える伝統を持つ。今日当社では陽暦の七月、十二月の晦日に執り行っている。

当日早朝より、多数の氏子総代の奉仕にて大茅の輪作りが行われ、正午近くに

は鮮やかな緑色の大茅の輪が神門に取り付けられた。又神門前には全国各地より寄せられた紅白の人影を取った唐櫃が据えられ、左右に神職、巫女、総代、多数の一般参列者が長い列をなした。

夕刻の五時とはいえ、日中の日射しをかわらぬ暑さの中で、宗像彌直が朗々と大祓詞を唱え、参列者全員に手渡された切麻で各自の身体を祓清め、続いて祓物のかけで切り裂き、年が明けてから半年間に知らず知らず犯した罪穢を託した。

夏越祭は例年にもまして盛大厳粛に齋行致すことが出来た。茲に謹んで紙面を以ち感謝の意を表します。

宗像大社
宮司 養父 守
宗像大社
宮司 養父 守

奉納袋配布並に取纏御礼
平成元年度、宗像大社夏越大祓式齋行にあたり、市・郡氏子各位への奉納袋配布並に取纏御礼につきましては猛暑の中、御協賛を賜り厚く御礼申し上げます。

宗像大社
氏子会評議員 各位

宗像大社
宮司 養父 守
宗像大社氏子会
会長 河野 幸人

宗像大社
宮司 養父 守
宗像大社氏子会
会長 河野 幸人

宗像大社
宮司 養父 守
宗像大社氏子会
会長 河野 幸人

宗像大社
宮司 養父 守
宗像大社氏子会
会長 河野 幸人

文部省では、今春十一年ぶりに全面改訂された小学校の新学習指導要領平成四年度より実施を周知させるための教師用指導書の具体的内容をこのほどまとめた。その中の社会科指導書案で特に注目されるのは、「天皇」についてより詳しく教えること、国旗・国歌についてもその意義をより明確に理解させること、とした点で、それはたんに従来からの指導書より一歩踏み込んだ記述となっているものと評価される。

「天皇」については、現行の学習指導要領には記述がなく、教師用指導書でわずかに「理解と敬愛の念を深めるように指導することが必要」とされてはいるにすぎないが、今回の指導書案では、指導要領が「天皇」についての理解と敬愛の念を深めるようにする」としているのを受けて、天皇の地位については「抽象的にならないように」と明示、国会召集、栄典授与、外国大使の接受などを例示して、天皇と国民との関係を理解させるとしている。

さらには今回の指導書案では、歴史学習の中でも「天皇が国民に敬愛されてきたことを理解させるようにする」とされておられ、社会科学学習を通じて小学校教育での「天皇」学習の深められることが期待されている。

この数年来の国民経験がふりかえつてみても、先帝陛下の御在位六十年奉

要領では「国民の祝日などの儀式に国旗を掲揚し国歌を斉唱させるのが望ましい」と、実施については「学校や教育

委員会の判断に委ねていたが、新学習指導要領は「入式や卒業式など」と対象を明らかにした上で「その意義を踏まえ、国旗を掲揚するとともに国歌を斉唱するよう指導するものとする」と殆ど実施を義務づけるような強い表現の記述となっている。

新指導書案はこの指導要領を受けて、まず①国旗や国歌はどの国でも持つて

「君が代」の「君」は必ずしも天皇の意味に解さなくてはならない、といった

「君が代」の「君」は必ずしも天皇の意味に解さなくてはならない、といった

君が代の「君」は、天皇

祝にはじまって御不例、崩御、そして新帝陛下の皇位継承の御儀といった重大な諸問題が相次ぎ、そこに伴う種々の関心状況や議論がマスコミの上にも大きく報道されたが、その中で青年にも多くはそれらの重要問題について殆ど無知識に過ぎている点がいま、ある人々によって憂えられている。天皇

祝にはじまって御不例、崩御、そして新帝陛下の皇位継承の御儀といった重大な諸問題が相次ぎ、そこに伴う種々の関心状況や議論がマスコミの上にも大きく報道されたが、その中で青年にも多くはそれらの重要問題について殆ど無知識に過ぎている点がいま、ある人々によって憂えられている。天皇

祝にはじまって御不例、崩御、そして新帝陛下の皇位継承の御儀といった重大な諸問題が相次ぎ、そこに伴う種々の関心状況や議論がマスコミの上にも大きく報道されたが、その中で青年にも多くはそれらの重要問題について殆ど無知識に過ぎている点がいま、ある人々によって憂えられている。天皇

祝にはじまって御不例、崩御、そして新帝陛下の皇位継承の御儀といった重大な諸問題が相次ぎ、そこに伴う種々の関心状況や議論がマスコミの上にも大きく報道されたが、その中で青年にも多くはそれらの重要問題について殆ど無知識に過ぎている点がいま、ある人々によって憂えられている。天皇

祝にはじまって御不例、崩御、そして新帝陛下の皇位継承の御儀といった重大な諸問題が相次ぎ、そこに伴う種々の関心状況や議論がマスコミの上にも大きく報道されたが、その中で青年にも多くはそれらの重要問題について殆ど無知識に過ぎている点がいま、ある人々によって憂えられている。天皇

祝にはじまって御不例、崩御、そして新帝陛下の皇位継承の御儀といった重大な諸問題が相次ぎ、そこに伴う種々の関心状況や議論がマスコミの上にも大きく報道されたが、その中で青年にも多くはそれらの重要問題について殆ど無知識に過ぎている点がいま、ある人々によって憂えられている。天皇

祝にはじまって御不例、崩御、そして新帝陛下の皇位継承の御儀といった重大な諸問題が相次ぎ、そこに伴う種々の関心状況や議論がマスコミの上にも大きく報道されたが、その中で青年にも多くはそれらの重要問題について殆ど無知識に過ぎている点がいま、ある人々によって憂えられている。天皇

祝にはじまって御不例、崩御、そして新帝陛下の皇位継承の御儀といった重大な諸問題が相次ぎ、そこに伴う種々の関心状況や議論がマスコミの上にも大きく報道されたが、その中で青年にも多くはそれらの重要問題について殆ど無知識に過ぎている点がいま、ある人々によって憂えられている。天皇

祝にはじまって御不例、崩御、そして新帝陛下の皇位継承の御儀といった重大な諸問題が相次ぎ、そこに伴う種々の関心状況や議論がマスコミの上にも大きく報道されたが、その中で青年にも多くはそれらの重要問題について殆ど無知識に過ぎている点がいま、ある人々によって憂えられている。天皇

残暑御見舞申し上げます

博多の味

味噌せんべい
博多の四季

本舗

有限会社 梅月堂

〒812 福岡市博多区古門戸町1-11
TEL 092-291-2966

技術と信頼で明日を創る

電気設備工事 設計・施工
空調設備工事



株式会社 旭電設社

代表取締役 藤澤弘佳

〒812

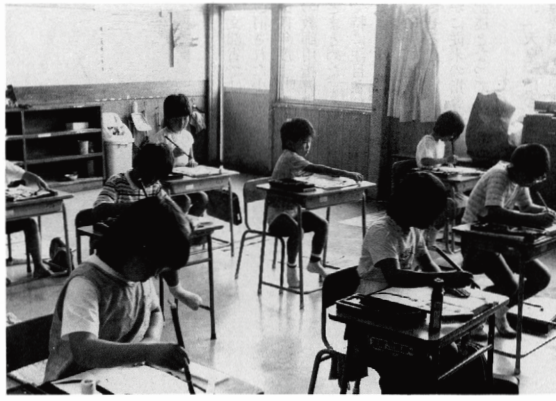
福岡市博多区博多駅前2丁目9番13号

電話(代表) 092-441-5928

FAX 092-471-7718

第三十四回 中津宮七夕揮毫会開催

筑前大島の夏を満喫



引続き入選者に対し賞状・賞品が手渡され、揮毫会も盛衰に終った。尚入選者氏名並成績は左記の通りです。

- 【福岡県知事賞】 石津 美佳 (津屋崎小5)
- 山本真理子 (城山中2)
- 石津 美和 (津屋崎小2)
- 山本 礼子 (城山中1)
- 【福岡県教育委員会賞】 山本真由美 (赤間西小3)
- 水島 妙子 (津屋崎中3)
- 【宗像大社司賞】 岩佐まゆみ (安海小3)
- 矢橋 大介 (城山中2)
- 【宗像市長賞】 力丸 純子 (安海東小1)
- 橋本 直子 (太宰府東中1)
- 【宗像郡町村長賞】 川手 厚史 (赤間西小4)
- 水島 紀子 (安海中2)
- 【宗像郡町村議長賞】 阿部 有志 (津屋崎小5)
- 田中 (俊彦) (安海小6)
- 【大島市長賞】 占部 沙織 (吉武小1)
- 東村 剛樹 (安海小4)
- 【大島村教育委員会賞】 中川 剛毅 (大島小3)
- 【フクニチ新聞社賞】 石津 文子 (安海小1)
- 藤 修一 (津屋崎小5)
- 氏家 幸 (自由ヶ丘小3)
- 倉員 佳子 (海星小4)
- 石津雅子 (津屋崎小5)
- 竹本あづさ (赤間小6)
- 仲村加奈子 (津屋崎中1)
- 丸井 崇弘 (安海中3)
- 山内佐都子 (大島中3)

宗像大社中津宮の夏の恒例行事である、七夕揮毫会とそれと併せて開催された、去る七月二十四日筑前大島に於て行われ、宗像郡、市を始め県内各地より二百五十余名の習字道者が参加して腕を競った。

中学校の先生方の指導のもとそれぞれの課題で揮毫浄書した。浄書された一枚は中津宮境内の受付に提出され審査の結果を待つばかりとなった。

- 宇都宮祐子 (安海小6)
- 花田英司郎 (津屋崎中1)
- 真子 弘美 (城山中2)
- 【尚文堂賞】 山下 教輔 (吉武小1)
- 赤星 佳美 (吉武小1)
- 加藤 光枝 (上西郷小2)
- 宮川 望 (赤間小3)
- 花田 智裕 (河間小2)
- 死洞摩衣子 (赤間小3)
- 溝上 直也 (安海小3)
- 武田 亮 (福岡南小4)
- 鎌田絵美子 (安海小4)
- 佐藤 美和 (高取小5)
- 水島 理恵 (勝浦小5)
- 早川まり子 (安海小6)
- 小方貴美子 (赤間小6)
- 今給黎慎子 (筑紫女中1)
- 脇田 若奈 (福岡中2)
- 【七口カネ賞】 里口ひでふみ (大島幼稚園)
- 倉員 知子 (海星小1)
- 高倉とよ子 (南郷小2)
- 衣川 朋宏 (津屋崎小3)
- 和田えつ子 (赤間小3)
- 宇都宮早幸 (安海小4)
- 中村 由佳 (那珂南小4)
- 木山 智 (津屋崎小4)
- 水島 美紀 (勝浦小5)
- 本田 聖二 (津屋崎小5)
- 伊豆恵子 (赤間小6)
- 加藤 敦子 (福岡小6)
- 本田おかり (南郷小6)
- 仲村 聖子 (津屋崎中1)
- 永野 千景 (日の里中2)

多節子先生の御指導を仰ぎ

当大社春秋の例大祭等に巫女舞として奉納される、「浦安の舞」の温習会が、去る六月二十九日より七日一日迄三日間、日本音楽協会々長の多節子先生を講師として迎え行われた。



この温習会は、六年前毎年行われており、これ迄にも数多くの巫女達が多先生の御指導を仰いで来たが、今年には春祭(二)三年目の巫女五名を中心に、朝八時半より夕方四時半迄昼食時間を除いて、終日集中して行われた。

「浦安の舞」は、静かな動きの中に優雅な気品を表現しなればならぬ。莊重な舞であると共に、神前への奉納舞である為、その奉仕精神は心身共に清く美しいものでなければならぬ。

- 【福岡県知事賞】 石津 美佳 (津屋崎小5)
- 山本真理子 (城山中2)
- 石津 美和 (津屋崎小2)
- 山本 礼子 (城山中1)
- 【福岡県教育委員会賞】 山本真由美 (赤間西小3)
- 水島 妙子 (津屋崎中3)
- 【宗像大社司賞】 岩佐まゆみ (安海小3)
- 矢橋 大介 (城山中2)
- 【宗像市長賞】 力丸 純子 (安海東小1)
- 橋本 直子 (太宰府東中1)
- 【宗像郡町村長賞】 川手 厚史 (赤間西小4)
- 水島 紀子 (安海中2)
- 【宗像郡町村議長賞】 阿部 有志 (津屋崎小5)
- 田中 (俊彦) (安海小6)
- 【大島市長賞】 占部 沙織 (吉武小1)
- 東村 剛樹 (安海小4)
- 【大島村教育委員会賞】 中川 剛毅 (大島小3)
- 【フクニチ新聞社賞】 石津 文子 (安海小1)
- 藤 修一 (津屋崎小5)
- 氏家 幸 (自由ヶ丘小3)
- 倉員 佳子 (海星小4)
- 石津雅子 (津屋崎小5)
- 竹本あづさ (赤間小6)
- 仲村加奈子 (津屋崎中1)
- 丸井 崇弘 (安海中3)
- 山内佐都子 (大島中3)

多節子先生の御指導を仰ぎ、今年には春祭(二)三年目の巫女五名を中心に、朝八時半より夕方四時半迄昼食時間を除いて、終日集中して行われた。

「浦安の舞」は、静かな動きの中に優雅な気品を表現しなればならぬ。莊重な舞であると共に、神前への奉納舞である為、その奉仕精神は心身共に清く美しいものでなければならぬ。

この温習会は、六年前毎年行われており、これ迄にも数多くの巫女達が多先生の御指導を仰いで来たが、今年には春祭(二)三年目の巫女五名を中心に、朝八時半より夕方四時半迄昼食時間を除いて、終日集中して行われた。

多節子先生の御指導を仰ぎ、今年には春祭(二)三年目の巫女五名を中心に、朝八時半より夕方四時半迄昼食時間を除いて、終日集中して行われた。

残暑御見舞申し上げます

宗像グリーンタクシー 有限会社

代表取締役 藤瀬 将俊

宗像市大字河東一 一 二 二

TEL 0941-331-3310

宗像西鉄タクシー 株式会社

代表取締役 林 田 陽一郎

支配人 高瀬 久

宗像市自由ヶ丘二 一 七 一 三

TEL 0941-331-4131

新星交通 有限会社

代表取締役 義 久

宗像市大字 東郷

東郷営業所 0941-361-1138

赤間営業所 0941-331-3318

神湊営業所 0941-621-0101

まごころで24時間
マリンプルーの

みなとタクシー 株式会社

代表取締役 古野 浩

0940(33)1331

サンサンイチのサンサンイチ

式内社顕彰会九州支部 「第二回巡拝の旅」

式内社顕彰会九州支部主
催(支部長・宗像大社宮司
兼父守)の第二回巡拝の旅
一行が、宮崎県内神社と熊



本県阿蘇神社の九社(古墳
(御陵)を参拝した。
六月十二日から十四日迄
の、二泊三日の日程で行っ
た。

この巡拝の旅は、千葉
東京、大阪、兵庫、鳥根の
各県を始め、九州県内の支
部員を合わせ二十名が集集
した。

十一日、宮崎神宮の正式
参拝で日程を開始した一行
は、梅雨も中休みの曇り空
しき中、青島神社、鶴戸神
宮を参拝した。青島神社で
は、この境内地にしか棲息
しない天然記念物のヒロウ
トタテグモを見学、又鶴戸
神宮ではフクミ石を口に持
つ珍しき狛犬一対の説明を
受けながらの楽しい学習を
重ね、今夜の宿「ホテル神
田橋」に旅装を解いた。

和やかな夕食会では、兼
父支部長や来賓の挨拶の後
全員で山海の珍味に舌鼓を
打った。

明けて十三日は生憎の雨
模様となったが、式内社
田神社参拝後車中では、上杉
宮司より「伊弉那岐尊・祝
の露跡、江田神社参拝の折

には観の雨がありがた
たいことである」との説明
に、一同身を清く感じつ
つ西都の古墳群を見学した。

巡拝各社も誠心こもった応
接に感謝しながら、高千穂
へと向った。バスは雲海の
中を天孫降臨の地の峯に登
る。車窓からの展望はまさ
に「値千金」の眺めであっ
た。白雲の中目に沁みる

若葉の青さ、高さ百数メー
トルの青雲橋と素晴らしい
景観が続く、その景色に見
とれてる内に高千穂の町
に到着した。

人口二万余のこの町は、
神話と現代が共存している
町である。天岩戸神社、高
千穂神社を参拝し、岩戸神
楽を拝観する。

夕闇せまる高千穂の峰を
後にしたバスは、若葉の中
を阿蘇内/牧温泉の宿へと
走る。四方山々が続く外輪
山の中に阿蘇五嶽が聳え、
緑の草原が美しい。噴煙を
上げる中嶽は雲中であって
白煙がかすかにたなびいて
いる。

十四日は曇り、外輪の山
並みが美しい。わけても五
嶽の麓の米塚の緑が一段と
鮮かであった。

ここに岡部先生、平田先
生、田の誌友岡田立男氏、
井手嘯月の句をお送り申し
上げます。

福岡 岡部六弥太
新緑や海に親の身を沈め
我を迎ふ日記の孤島の夏鷲
むさしあぶみ原始林の夏鷲
おたにわたり 日にさゆれ

古く祭祀の岩巨き
田心姫神の島の筒鳥
大島 沖ノ島等、例句も多
く掲載されているが、沖ノ
島の句がきれいなを致しく思
い、岡部先生、平田先生を
お誘いして、平成元年の沖
津宮現地大祭に参拝して頂
き、機会があればまた参加
したいと申し上げ居られます。



朝霧の煙る中、阿蘇神社
に参拝、社務所で種々の神
宝を拝観する。午前十時
宮司、職員各位の見送りを
いただいた同社を辞し、一
路熊本駅へと向った。

午前十一時半、すべての
行程を終え、今回の巡拝の
旅情を惜みつつ、再会を約
して解散した。

参拝神社(古墳群
(宮崎県)
宮崎神宮
青島神社
鶴戸神宮
江田神社(式内社)
都萬神社(式内社)
都農神社(式内社)

燈台の梯子の腐蝕青風
福岡 岡田 立男
夏潮の流れ藻まどふ親かな
水雉鳥叩月の波頭
かすめ翔ぶ
獅子独活の花に孤島の
波荒れて

神の巖社をしのげり青葉光
初夏や杜透きて濃き人の声
北九州 井手 嘯月
下園や妖花の
つくしあぶみ咲く
巨巖みな鳥の警座夏木立
覆してぐるる鳥居や青嵐

七日一日 月次祭
職員会議
七月四日 宗像大社氏子会
評議員会
岡山県立博物館白井学
芸員来社
七月五日 志免町史談会一
行来社

七月六日 出光興産(株)川崎
油槽所長西尾哲氏、同
総務課長村馬伸氏参
拝
出光エンジニアリング
(株)千葉事業所長鍋谷宏
氏、出光千葉建設保全
協力会立野勝人氏外六
名参拝

七月九日 皇学館大学教授
田中卓氏、同大学院生
九名参拝
宗像大社菊花会運営理
事会
七月十日 法隆寺執事長高
田良信氏、九州歴史資
料館長田村圓香氏、福
岡教育大学教授水山在明
氏参拝

七月十一日 九州歴史資料
館主高倉氏来社
七月十二日 田川市川崎養
護学校四十五名来社
七月十三日 出光興産(株)水
戸支店販売課長北川英
樹氏外一名、旭水会十
一名参拝

七月十四日 福岡市立博物
館来會者委員来社
七月十五日 月次祭・祇園
祭
七月十六日 靈山顕彰会福
岡県支部事務局長鹿毛
義勝氏外四十四名参拝
宗像少年の翼沖繩研修
旅行団一行参拝

宗像警察交通課長・
宗像交通安全協会事務
長以下四十名参拝暴走
族解散禁止祭章境内
出光福友会五十名境内
清掃奉仕
七月十八日 中津宮祇園祭
七月十九日 埼玉県神戶市
入間郡市連合支部部長
麗澄雄氏外十七名参拝
北九州市歴史博物館有
川学芸員来社
北九州考古博物館藤丸
副館長来社
七月二十日 福岡県水産林
務部治山課技術師志岐純
一氏、玄海町役場建設
課吉武課長外四名来社
三瀬高校一〇〇名来社
七月二十一日 福岡銀行宗
像支店との懇親ソフト
ボール大会
七月二十四日 第三十四回
中津宮七夕揮毫会
七月二十六日 鹿島建設(株)
九州支店宗氏、立石氏
弘江組社長中野弘愛氏
来社
七月二十八日 豊学院学
生、皇学館大学神務実習生
宗像市 大宰府天満
宮権藤彦佐奈正彦氏外
二名引卒
七月二十九日 横山中学校
三十一日 大蔵式・夏
越祭
地元総代並協力会大蔵
式・夏越祭諸準備奉仕

社務日誌抄

残暑御見舞申し上げます



宗像平和タクシー株式会社
代表取締役 塩川 弘 昭
宗像郡福岡町二七二八一―一三
TEL 〇四二一〇四〇

福栄タクシー 有限会社
代表取締役 保井 久
福社 長 保井 享
宗像郡福岡町字東の前云三八
TEL 〇四二一〇三七三

美松タクシー 有限会社
代表取締役 塩川 弘 昭
宗像郡津屋崎町大字津屋崎新川端
TEL 〇四二一〇一五

大和印刷所 株式会社
代表取締役 的場 重 徳
宗像市 大字 田 熊
TEL 〇四二一〇二二七
FAX 〇四二一〇一八五五

宗像大社歌会 俳句作品集(三七)

日里 花田いつえ
粟花の思はぬ丈や峽の里

田熊 安部 ゆき
涼しきの眼りを誘ふわが余

福岡中央 力丸 玄風
触れ合いを深む再会梅雨晴

福岡 広渡一寿軒
長城も万里つづくや果知れ

福岡 二宮 末子
台風もゼッケンつけて競い

福岡 森 清
自転車に濡れてゆく子や子

津屋崎 井浦 良介
消費税に明け暮れる村熱帯

田熊 力丸 一郎
噴水やとげげ陶裡にしぶき

津屋崎 西住喜二郎
手のとどく鯨の空蟬子等知

鐘崎 岩瀬 辰夫
孫達の金魚掬いや見て楽し

池田 小田しめの
釣川のゆるき流れに雲走る



(続)

浜の寄物

39

能登の漂着神(一)

いししいただし



二時十分
島は、三方を海に囲まれ
J R で小
松、金沢
羽咋と兼
また波間を漂い着いた寄
り船き
神の伝承を持つ神社や寺院
は、日本でもここに集中し
ている。
はくひの海 うなぎかは
るこのゆふよ、岬が国見
た。確かに
に便利に
なつたが
旅の印象
は薄く
なつたよ
うな気が
する。
二時十分
島は、三方を海に囲まれ
J R で小
松、金沢
羽咋と兼
また波間を漂い着いた寄
り船き
神の伝承を持つ神社や寺院
は、日本でもここに集中し
ている。
はくひの海 うなぎかは
るこのゆふよ、岬が国見
た。確かに
に便利に
なつたが
旅の印象
は薄く
なつたよ
うな気が
する。

今夏八月八日から三泊四
日、能登半島を少しだけ
巡ってきた。
福岡空港を十二時五十分
発、石川県・小松空港には
翌日は志賀町大島海岸を
歩いた。志賀町といえは
赤住に、水俣十二(二五
六九)鐘崎の漁民が最初
に漂着したところとされる。

まつりと生活(二十七)

祝詞について

祭の時、神に奏上するこ
とばを「祝詞」といいます。
祝詞の語義に関しては、古
来、さまざま解釈があり
ますが、一般には、ノリト
というの、宣言・宣詞・
宣説言などから来ていると
いわれています。

祝詞は、本来は神のこと
ばであって、神が人々に宣
り聞かせたもので、
祝詞は、形式的に種類
に区別されます。一つは「宣
命」です。これは、祭司者
が天皇の御言を神前に伝達

しますが、その直接の目的
は、御言をその祭りに参列
している人々に聞かせるた
めです。だから「...と
宣る」といつて結ばれてい
ます。一つは、「奏上」です。
これは祭司者が天皇の御言
を神前に奏上するものです。
「...と申す」で結ばれてい
ます。このほか「奉詞」があ
ります。祝詞は天皇から臣
下に「宣下」されるもので、
平野祭・鎮火祭・大観祭・

先生が「野の花」よみ(宗
像の植物)の中に記されて
いるが、非常の中であって
登で、志賀町誌に記載さ
れているので、発芽はある
が、急に行つて見つけこ
とは無理であらう。位置
的にも、玄海より北で、
大島海岸は十数年前、地
元の郷土史研究者で、長
離ランナーとして活躍さ
れた室矢幹夫氏と歩いた
ことがあり、今回も歩いて
下つた。氏はこの浜を毎
日も歩いて走らる。大島海
岸は人工海岸になったり、
荒れ果てた感じがしなかつ
たのは、うれしかった。
波打ち際から一段高くなつ
た砂丘の浜浜植物の草むら
に、かたまるところにして、
冬の間に吹き上げられた韓
国や中国の漂着物が多々見
られた。特にプラスチック
製の丸浮子やアナゴ用のウ
ケの漂着は玄界と同じよ
う目についた。南方果実は
ゴバンノアシ一個を採集し
ただけであった。
それから風至郡門前町・
皆月へ行った。門前町皆月
は輪島の西南一六キロの
ところにある海辺の町で七地
道堂祭とす。宮廷の祭
りには、中臣氏が奉仕する
ものがあつた。大観祭・
御門祭は齋部氏の祝詞で、
それ以外の諸々の祭は中臣
氏の祝詞で行われていまし
た。
ところで、古代の祭祀で
は、祭司すなわち、同族・
地域、あるいは国家や共同
体の宗教上の指導者や共に
祝詞をささげ、神を祭る
人々の意志や願望を神に伝
えました。それは共同体の
安全と生産と繁栄のために
神の力を押さえたり、逆に
その力を発揮させようとし
たのです。したがって祭祀
や信仰は、個人の経済より
も、共同体や集団の平和と
繁栄を祈ることにあつた。

境内では山王祭の準備の
真最中で大人達は、それぞ
れ分担で、曳山の組み立て
をするもの、境内周辺の道
路を清掃するもの、倉庫の
中で、張り子の鳥居や灯
籠が造られ、子供達も手斧
や小刀を持ち、竹を割り、
切つて作業を助けていた。
町全体が一丸となつて明日
の祭祀に取り組んでいる。
夜遅くまで行われていた。
十日、早朝五、六名の子
供達が一組となつて、祭祀
を、ふれまわる声で目が覚
めた。



皆月(間垣)

霊信仰と称しています。祝
詞の誤謬が許されないのも、
要するに祝詞をうっかり読
みかえたりすると、間違
えたままの状態が実現する
と信じられていたからです。
このように祝詞には、生
命力あふれる言葉の霊力が
神と人とを感動させ、神が
それを喜ばれるという期待
と祈りが込められているの
です。
Y・S 記
古代人は言語に霊力がやど
ると信じていたのです。す
なわちある言語を発すると、
その言語の内容とどりの状
態が実現すると考えていた
のです。これを言霊とか言

残暑御見舞申し上げます



総合建設業
株式会社 弘江組
代表取締役 中野弘愛

事務所 福岡県宗像市大字稲元二〇五
電話(九四) 三二二五六七
三二二二九一八

総合結婚式場
のがみ会館
取締役社長 野上藤三郎

飯塚 飯塚市新立岩一三三三
宗像 宗像市大字土穴四六六一
筑紫 筑紫野市大字塔の原九九九
〇九二一九三二二二

宗像グリーン
株式会社
代表取締役 瀧口潤一郎

福岡県宗像市大字稲元九〇五
TEL (九四) 三三二二七二

ハナダ写真館
代表者 山下孝男

福岡県宗像市大字東郷一〇三二
TEL (九四) 三二二〇〇九代